

2014年度 変額年金保険(特別勘定)決算のお知らせ

**Grand
Design**

グランド デザイン

変額個人年金保険 I 型(年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)



- 当資料は、特別勘定の運用状況等を報告するための資料であり、生命保険契約の募集または特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の勧誘を目的とするものではありません。
- この商品は、特別勘定の運用実績に基づいて死亡保険金額、積立金額、解約返戻金額等が日々変動(増減)する変額個人年金保険(生命保険)です。
- 当資料に記載された過去の運用実績に関するいかなる内容も、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2015年7月作成



Gibraltar
ジブラルタ生命

ご契約者のみなさまへ

弊社保険につきまして、日頃よりご愛顧、ご継続をいただき誠にありがとうございます。
さて、2014年度の決算を終えましたので、特別勘定についての決算概要をご報告申し上げます。

1. 市場動向 (2014年4月1日～2015年3月31日)

【市場動向】

2014年度の国内債券市場（新発10年国債利回り）は、景気減速懸念を背景とした海外金利の低下基調、また日銀や欧州中央銀行の追加金融緩和などにより金利は低下基調となり、1月には0.2%近辺の水準となりました。その後20年国債入札を契機に国債の持ち高を解消する動きが強まると上昇に転じ、0.4%近辺で取引を終えました。

外国債券市場は、米10年物国債利回りが欧州での追加金融緩和期待や世界的な景気減速懸念などにより低下基調となり、1月には1.6%前半の水準となりました。その後原油価格の上昇やギリシャ債務協議の前進を受け2.2%近辺まで上昇したものの、期末にかけては1.9%台まで再度低下して取引を終えました。

国内株式市場は、政府の成長戦略や年金積立金管理運用独立行政法人の株式保有比率引き上げへの期待や、円安ドル高基調を受けて上昇基調となりました。日銀の追加金融緩和発表後には一段と上昇基調が強まり、年度末の日経平均株価は19,206.99円となり取引を終えました。

外国株式市場は、米国での経済統計改善などを受け上昇基調で始まりました。その後、世界景気の不透明感から下落する場面もあったものの、米連邦準備理事会が量的金融緩和に伴う資産購入を10月末で終了することを決定すると、景気回復期待から再度上昇基調に転じました。

為替市場は、ドル円相場が一進一退の推移となる展開で始まりました。その後、米連邦公開市場委員会議事録が早期の利上げもあると受け止められ円安ドル高が進む中で、日銀が追加金融緩和に踏み切ると円安傾向は一気に加速しました。年度末のドル円相場は、1ドル120円前半となりました。一方ユーロ円相場は、日銀の追加金融緩和により円安ユーロ高が進む場面もあったものの、欧州中央銀行による追加金融緩和の影響により年度でみると円高ユーロ安が進行しました。

【主な市場の動向】

	日経平均株価 (円)	10年国債利回り (日本)	NYダウ平均株価 (US\$)	10年国債利回り (米国)	ドル円相場	ユーロ円相場
2014年3月末	14827.83	0.640%	16457.66	2.72%	102.92	141.65
2015年3月末	19206.99	0.400%	17776.12	1.92%	120.17	130.32
変化率	29.5%	0.24%低下	8.0%	0.8%低下	16.8%	-8.0%

2. 保有契約高

区分	件数	金額 (万円)
変額個人年金保険 I 型 (年金受取総額および死亡保険金額保証特則付)	8	1,800

3. ユニットバリューと運用利回りの推移

	ユニットバリュー	運用利回り
2014年3月末	112.9204	
2014年4月末	111.9366	-0.87%
2014年5月末	112.3400	-0.51%
2014年6月末	116.5785	+3.24%
2014年7月末	116.8499	+3.48%
2014年8月末	117.0601	+3.67%
2014年9月末	118.8579	+5.26%
2014年10月末	122.1824	+8.20%
2014年11月末	124.6247	+10.37%
2014年12月末	124.4085	+10.17%
2015年1月末	124.7342	+10.46%
2015年2月末	129.2183	+14.43%
2015年3月末	129.9625	+15.09%

(注) ユニットバリューとは、会社としての運用開始時を100として持分1口あたりの価値を意味します。
運用利回りはユニットバリューの2014年3月末からの伸び率を記載しております。

4. 資産の内訳

区分	金額	構成比
現預金・コールローン	773	2.4
その他の有価証券	25,777	81.0
その他	5,256	16.5
合計	31,807	100.0

5. 運用収支状況 (2014年4月1日～2015年3月31日)

項目	金額
利息配当金収入	5,946
有価証券評価益	6,785
その他の収益	—
有価証券評価損	8,333
その他の費用	—
収支差計	4,398

6. 特別勘定の運用状況(特別勘定名) 国内バランス50

■運用方針

当特別勘定資産の運用は、主として「プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド(適格機関投資家向け)」(運用会社: プルデンシャル・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社) に投資することにより行います。

■運用内容

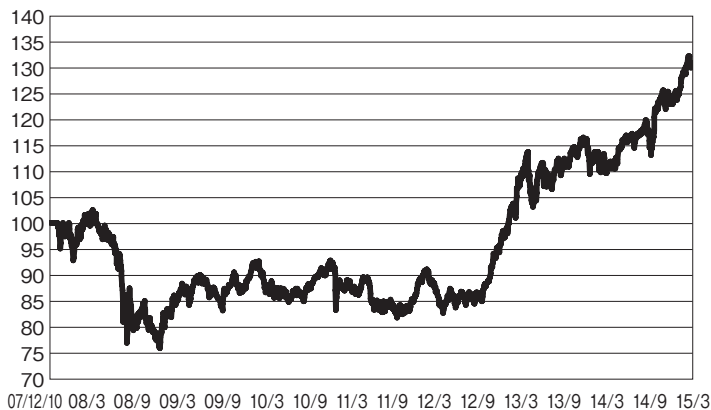
特別勘定への資金の流出入に合わせ、上記投資信託の組入れ比率を高水準に保つ運用を行いました。

当年度末の投資信託の組入れ比率は96.6%です。

当年度末のユニットバリューは129.9625となっております。また、設定来のユニットバリュー騰落率は+29.96%となりました。

※投資信託の組入れ比率は、投資信託の買付・解約により発生する未払金・未収金を調整した実質的な投資信託の比率であり、特別勘定資産合計に対する構成比率とは異なります。

■ユニットバリューの推移と運用利回り



設定日: 2007年12月10日

	ユニットバリュー	運用利回り
2014年3月末	112.9204	
2014年4月末	111.9366	-0.87%
2014年5月末	112.3400	-0.51%
2014年6月末	116.5785	+3.24%
2014年7月末	116.8499	+3.48%
2014年8月末	117.0601	+3.67%
2014年9月末	118.8579	+5.26%
2014年10月末	122.1824	+8.20%
2014年11月末	124.6247	+10.37%
2014年12月末	124.4085	+10.17%
2015年1月末	124.7342	+10.46%
2015年2月末	129.2183	+14.43%
2015年3月末	129.9625	+15.09%

(注) 運用利回りはユニットバリューの2014年3月末からの伸び率を記載しております。

(単位: 千円)

■保有有価証券の明細

銘柄名	種別	時価額
プルデンシャル私募国内株式・債券バランスファンド(適格機関投資家向け)	投資信託	25,777

ご契約に関する
ご照会は
コールセンターまで

☎ **コールセンター** フリーダイヤル  **0120-59-2269** ジ ブ ロック

受付時間 平日8:30～20:00 / 土曜9:00～17:00 (日・祝・12/31～1/3を除く)